



教育目標

児童生徒一人一人の病気や障がいに応じた教育により、確かな学力を育み、自他を尊重する豊かな心や健やかな身体を養い、社会の変化と向き合いながら将来をより豊かに生きようとする調和のとれた人間の育成に努める。

経営方針

「地域の中で共に自己を磨き、希望をもって生き生きと学ぶことができる学校」をめざして

校長 猪俣 康彦

- ◎ 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進に向け、地域や医療、家庭と連携を図り、児童生徒一人一人の病状と教育的ニーズに応じた個別最適化された学びの充実を図ります。
- 学習指導要領と「学校教育の指導の重点」に基づき、ICT 機器を効果的に活用し、「わかる授業」と「考え表現する力の育成」に努めます。
- 体験的、協働的な学びを通して、「豊かな心」と「健やかな体」の育成を目指します。
- 児童生徒の自立と社会参加に向けた意識を高め、将来の希望を実現できるよう計画的・組織的に進路指導を行います。
- 小中学校、高等学校との連携を円滑にし、病気療養児の学習支援や教育相談の充実を図ることで、会津地区の病弱教育を推進します。

I 進んで学び、深く理解する授業づくりに努めます

- ① 学びへの興味・関心を高め、理解の特性に応じた個別最適な授業を行い、基礎的・基本的事項の定着を図ります。
- ② 対話と協働による学びを推進し、主体的に考え、表現する力の育成に努めます。
- ③ ICT機器の活用や地域資源との連携により、探究的に学ぶ力を高めます。

II 自分の強みをいかし、共に認め、支え合い、たくましく生きる力を育てます

- ① 学年間、学校間の合同学習を増やし、互いのよさをいかしながら、共に学び高め合う態度を育てます。
- ② 病気や障がいへの理解を深め、自他の個性と多様性を尊重し行動する態度を育てます。
- ③ 体験的な活動を充実させ、社会性と課題を解決しようとする態度を育てます。

III 関係機関との連携を図り、自立と社会参加に向けた教育を進めます

- ① 職場体験や社会体験を行い、地域の一員として生活する意識や望ましい勤労観・職業観を育みます。
- ② 医療機関や福祉機関と情報を共有し、連続性のある適切な指導と支援を推進します。
- ③ キャリア・パスポート等を活用して、自己実現のために主体的に学ぶ態度、能力を育てます。

IV 会津地区の病弱児童生徒の教育を支えます

- ① 病気療養児の連続した学びを保障するため、小中学校、高等学校と連携し、適切な学習支援、学習保障を行います。
- ② 来院児童生徒の相談を行い、医療と教育の連携を推進します。
- ③ 地域の教育関係者の研修支援や相談、情報提供を実施し、センター的機能の役割を果たします。

児童生徒と学校、地域全体の Well-being の実現をめざします

「開かれた学校」をめざし、情報を積極的に発信しています

- ① 児童生徒が安全で安心して学べる環境、教職員がやりがいと達成感をもって教育を行う学校を実現します。
- ② 教職員が高い倫理観と使命感で事故や不祥事を防止し、家庭や地域社会とともにある学校を実現します。

